第2回 佐藤寛泰の会

翁

OKINA

佐藤寛泰
野村萬斎

絵馬 女体

ENMA

佐藤寛泰
福王和幸

2026年11月14日（土） 開演13:00［開場12:00］

※「翁」の上演中の入退場はできません。慣例として予めご了承ください。

公益財団法人 十四世六平太記念財団
喜多能楽堂
〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
TEL:03-3491-8813 / FAX:050-3204-7352

主催・チケット販売：株式会社寛松能
寛松能
KANSHONOH
チケットのお申し込み ➡
090-4949-2063（佐藤寛泰事務局）

翁

佐藤寛泰
千歳 金澤桂舟
三番叟 野村萬斎
狂言後見 野村太一郎
石田淡朗
後見 中村邦生
佐々木多門

大鼓 大倉慶乃助
胴脇 森 貴史
小鼓頭取 住駒充彦
笛 藤田貴寛
手先 曽和伊喜夫

地謡 金子龍晟 内田成信
粟谷浩之 粟谷明生
金子敬一郎 香川靖嗣
高林昌司 友枝雄人

休憩二十分

仕舞

松風

友枝昭世

山姥 切

香川靖嗣

地謡 佐々木多門
内田成信
友枝雄人
金子敬一郎

能

絵馬 女体

手力雄命 友枝真也
天細女命 谷 友矩
姥 佐藤 陽
老翁（天照大神） 佐藤寛泰
従者 矢野昌平
臣下 福王和幸
従者 村瀬 提
末社の神 野村裕基
後見 内田安信
金子敬一郎

大鼓 亀井洋佑
小鼓 飯冨孔明
太鼓 小寺真佐人
笛 杉 信太朗

地謡 狩野祐一 内田成信
佐々木多門 大村 定
粟谷充雄 友枝昭世
高林昌司 友枝雄人

終了予定時間 午後四時半頃

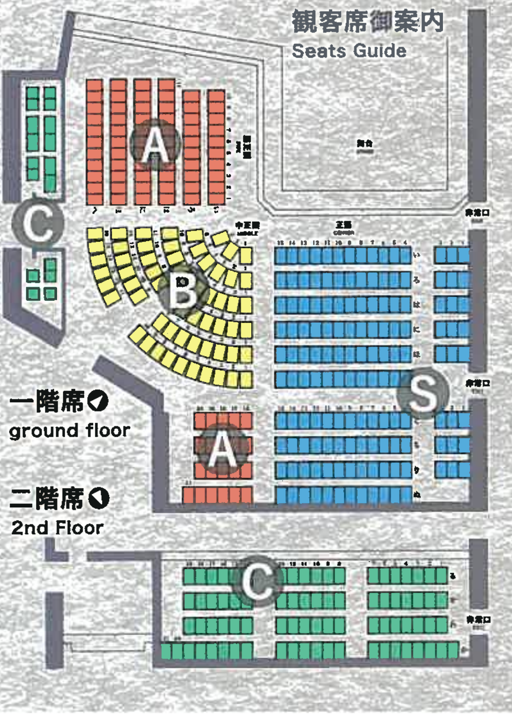
翁

「翁は能にして能にあらず」と言われ、他曲とは別格に扱われ、形式が全く異なり天下泰平、国土安穏、五穀豊穣を祈る神事として演じられ、戯曲的な構成はない。初めに〈翁渡り〉といい、千歳、翁、三番叟につづき、素襖、侍烏帽子の最高礼装の囃子方、後見、地謡方の順に出て、三番叟以下は橋掛かりで待ち、正面での翁の一礼の後、一同所定の位置につき、演奏が始まる。まず、三挺の小鼓が打ち出し、翁の謡出しにつづき、千歳が舞いを始める。その舞の間にシテの翁は白式尉の面（切顎という顎のところで2つに分かれ、飾眉を貼り付けた他にない特色があり、目をへの字にくりぬき、笑いと福顔をたたえている）をつけ終わり、荘重な翁の舞となる。舞終わると面をとり、礼をして退場する。これを〈翁帰り〉という。この後三番叟の舞となり、始めに面をつけず、掛声を掛けながら舞う〈揉の段〉を舞う。その後黒式尉という面をつけて鈴を振りながら舞う〈鈴の段〉の舞の後、面と鈴を置き退場し、演奏がおわる。

「翁」の上演中の入退場はできません。慣例として予めご了承ください。

絵馬 女体

節分の夜、帝の勅使が伊勢・斎宮を訪れ、天候を占う絵馬掛けの神事を見ようと待っている。そこへ白馬の絵馬を持つ老翁と、黒馬の絵馬を持つ老嫗が現れ、晴雨を占う絵馬の功徳を語り合う。天下万民が喜ぶようにと今年は白と黒の二つの絵馬を掛け並べ、雨も降らし日も照ることにする。やがて老夫婦は伊勢の二柱の化身であると明かし、夜の闇に姿を消す。やがて天照大神が天鈿女命と手力雄命を引き連れ姿を出現する。悪神を懲らしめるため岩戸に籠った、天岩戸隠れの神話が舞台上に再現される。天鈿女命の神楽に誘われ、手力雄命が岩戸を引き開き、天照大神が岩戸より姿を現す。天下泰平・五穀豊穣を寿ぐ祝祭的な結末となる。通常の絵馬では後シテは天照大神は男神となる。「女体」の小書がつくと女神として荘厳に現れ、位も重くなり、喜多流では大切に扱われる小書になる。



■チケットお申し込み
https://kanshonoh.jp/チケットお申し込み/
090-4949-2063（佐藤寛泰事務局）

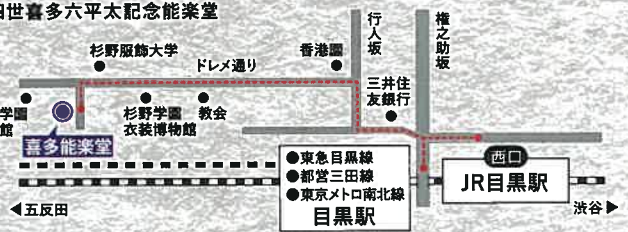
■チケット販売開始日
2026年7月15日（水）10:00～

■お問い合わせ　（受付時間10:00～18:00・休館日あり）
喜多能楽堂事務局 03-3491-8813

喜多能楽堂 公益財団法人 十四世六平太記念財団
十四世喜多六平太記念能楽堂

料　金（税込）

🟦 S席	12,000円
🟥 A席	10,000円
🟨 B席	8,000円
🟩 C席	6,000円



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 TEL:03-3491-8813 / FAX:050-3204-7352
JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分
目黒駅西口よりさくら情報システム裏手のドレメ通りを直進 杉野学園体育館手前を左に入る

※当能楽堂には駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。
※開演中の写真撮影及び録音は固くお断り致します。　※喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。